

鳥獣被害対策における中間支援組織の育成・提言・ネットワーク化

フロントランナー助成

5年目

実践

ネットワーク会員 15団体

けもの塾参加者 68人

今年度計画の達成度 55%

目標達成度 75%



けもの塾初級編in湯沢

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

実践を重視するプログラムにするために、地元の集落の方や行政の方に、フィールドとして提供いただけるよう打ち合わせを念入りに行った。

■ 工夫した点

誰でも一から学べるプログラムとし、3泊4日同じ場所での合宿形式にすることで日夜、参加者や講師とともに活動し、ネットワークづくりが円滑に行えるように計画した。

課題

- ① 獣害対策の担い手（けものまのち医者）育成
- ② 過疎高齢化する農村集落における獣害対策の体制（都市部からの人材流入）
- ③ 地域における「けものまのち医者」の地位確立

目標

第2巻の獣害対策白書を元に、獣害対策をハード対策ではなくソフト対策に移行するよう提言し、けもの塾生が地域の担い手として定着し、獣害を獣益と変えていく社会をつくる。

活動内容と成果

5年目は獣害対策白書第2巻の普及と獣害対策を行う支援組織ネットワークの拡大を行った。

けもの塾は4回68人、野生動物対策技術研究会120人やけもJOB120人14企業という参加から、徐々にイベントも定着してきている。九州や沖縄までネットワーク会員が増え、15団体の全国組織となった。けもの塾生へのフォローアップも強化し、2団体は自立化の見通しが立ってきている。



けもの塾行政編in東京

全助成期間の活動を振り返って

5年間で、野生動物のまち医者育成のネットワークを4団体から15団体へ広げることができた。白書を2回発行することで、政策提言も行ったが、資格制度をつくることまでは達成できなかった。獣害を地域課題でなく地域のチャンスに変えるためにも、各地域を支える支援団体の育成が急務であることも確認できた。また、都市農村交流企画「クラウドハンター」にも着手し、獣害で交流人口を増やすことに成功する集落もできてきている。



第2回ふるけもジョブ活in2018

| 活動地域 | 岐阜県郡上市

〒501-4601
岐阜県郡上市大和町大間見307番地
電話：050-5241-1635
E-mail: staff@metamori.org
<http://furusato-kemono.net/>



今後の展望

引き続き「けもの塾」を軸に全国に支援組織を育成していきたい。成果の見える化を丁寧に行い、理解者や協力者も増やしていき、白書を定期的に発行し、現場の最前線を政策につなげていけるよう働きかけを行っていく。